

コンクリートの乾燥収縮ひずみ試験

～ コンクリートの長さ変化測定 JIS A 1129 ～

『建築工事標準仕様書・同解説JASS 5 鉄筋コンクリート工事-日本建築学会発刊』において、コンクリートの乾燥収縮ひずみ率が規定され、コンクリートの品質管理項目の一つとして明確化されております。

『コンクリートの収縮問題検討委員会報告書-日本コンクリート工学会(JCI)発刊』においても、生産者側で1年に1回程度の試験データによって乾燥収縮率を確認することが提案されております。

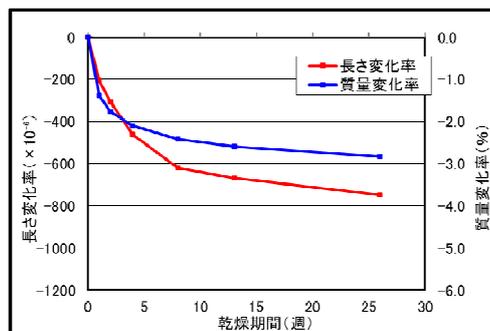
◆乾燥収縮率の判定基準

- ・日本建築学会収縮ひび割れ制御指針

コンクリートの級：標準 $650 \sim 800 \times 10^{-6}$
：高級 $500 \sim 650 \times 10^{-6}$
：特級 500×10^{-6} 以下

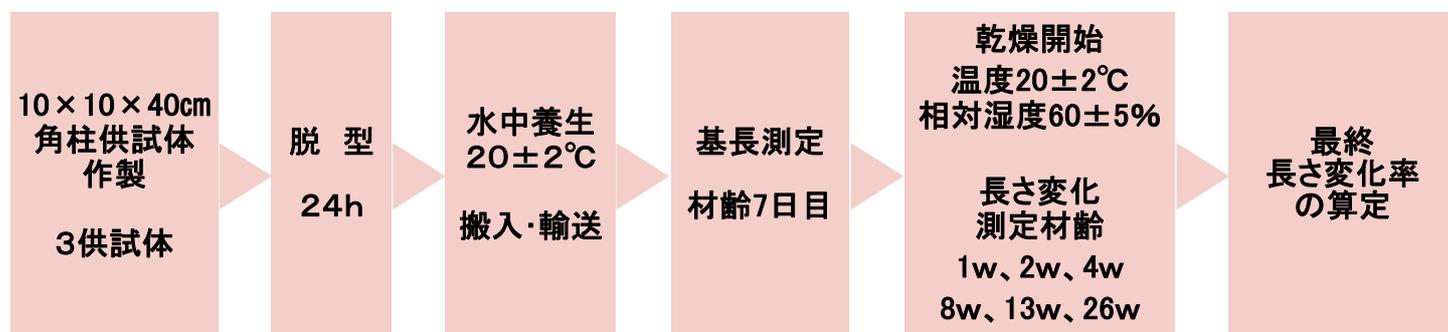
- ・日本建築学会 JASS 5 2022

計画供用期間の級：長期・超長期 8×10^{-4} 以下



当社では、コンクリートの長さ変化測定をJIS A 1129-2(コンタクトゲージ法)により実施しております。長さ変化率に加え、参考として質量変化率も併せてご報告させていただきます。

長さ変化測定の流れ



■注意事項

- ・測定材齢は、1w、2w、4w、8w、13w、26wを基本とします。その他の測定材齢につきましては、別途とさせていただきます。
- ・供試体の作製および弊社試験室までの搬入・輸送は、お客様にてお願い致します。
- ・角柱供試体用型枠の貸出は可能ですが、数量に限りがあります。お早めの申しつけお願い致します。
- ・乾燥室の空き状況によっては、対応しかねる場合もございますので、事前連絡頂けますようお願い致します。

